

タイトル…『汐製菓会社の新作〜1ガム

3』

登場人物

- ・ 汐（30代）…汐製菓会社の社長。「面白きことも無き世を面白く」をモットーに、奇想天外なお菓子を開発し続ける。快活で大胆な性格。
- ・ 塩田（30代）…汐の秘書。真面目で几帳面、心配性だが有能。汐の大胆な発想に振り回されがちだが、実はお菓子が大好きで、汐製菓に入社したのもそのため。

第一幕

シーン1…汐製菓会社の社長室

(社長室。汐がデスクに座り、何やら深刻そうな表情で考え込んでいる。塩田が資料を手に入ってくる)

塩田：「社長、新商品の企画会議が始まりますよ。」

汐：「うーん、塩田。面白いガムを作りたいんだけど、どんな味がいいと思う？」

塩田：「面白い…ガム、ですか？」(少し戸惑いながら)

汐：「そうだよ！ただのフルーツ味じゃつまらない。ガムついてもっと冒険できると思うんだ。」

塩田：(心の中で)また始まった…社長の暴走。

汐：「うん、決めた！ファラフェル味のガムを作ろう！」

塩田：「ファ、ファラフェル味：？」（目を見開いて）

汐：「そう、ファラフェルだ！中東の味をガムで楽しめるなんて最高じゃないか！」

塩田：「（冷静を装って）えっと、それは…その…食べたことのない人にとっては、ちょっと冒険が過ぎるような…」

汐：「だからいいんだよ！チャレンジ精神が人を動かすんだ、塩田！我々の使命は、人々に新しい体験を提供することだろ？」

塩田：「そ、そうですね…」（内心で頭を抱えながら）

（二人はそのまま会議室へ向かう）

第2幕

シーン2：汐製菓会社の会議室

(会議室。汐、塩田、そしてマーケティングチームが集まっている)

汐：「皆さん、聞いてください！ 次の新商品は、フアラフェル味のガムです！」

(チーム全員が一瞬固まるが、すぐに困惑の表情を浮かべる)

塩田：「社長、そのアイデアは少し大胆すぎるかと…」

マーケティング担当者A：「えっと、フアラフェルってあの、スパイスが効いた…中東の…？」

汐：「そうだよ！ ヘルシーで栄養満点のフアラフェルを、手軽に楽しめるんだ。しかもガムで！」

マーケティング担当者B：「でも、ガムって普通、甘いかフルーティーなイメージが…」

汐：「だからこそだ！人々の固定観念をぶち壊して、新しい市場を開拓するんだ！」

塩田：「ですが、ターゲット層はどうしましよ
う？特定の味覚に慣れていない人には、かな
り挑戦的な商品になるかと…」

汐：「ターゲットは冒険心のあるすべての人！
特に、若者やグルメ好きに響くはずだ！」

マーケティング担当者：「それで、開発の予
算やスケジュールはどうなりますか？」

汐：「予算は気にしない！とにかく最高のファ
ラフェル味を作るんだ！」

塩田：「社長、予算管理は重要です…」（頭
を抱えながら）

汐：「心配するな、塩田。俺たちには最高の
チームがいる。きっと大成功だ！」

(会議は賑やかに続くが、皆が不安を感じている様子)

第3幕

シーン3: 開発部門

(開発部門。研究員たちが材料を混ぜたり、試作品を作ったりしている。汐が塩田と共に視察に訪れる)

汐:「さあ、ファラフェル味のガムの進捗はどうだ？」

研究員A:「あの、社長: 試作品を作ってみたんですが: ちよっと味が: 強烈すぎて:」

研究員B:「スパイスが効きすぎて、口の中が:」

塩田:「(恐る恐る) 試食してみますか、社長:」

汐：「もちろん！俺が試食して判断する！」

（自信満々でガムを口に入れる）

（汐がガムを噛むと、突然顔が真っ赤になる。

強烈なスパイスの辛さに耐える）

汐：「こ、これは…なかなか…パンチが効いてる

な…」（汗をかきながら）

塩田：「社長、だ、大丈夫ですか？」（慌てて

水を差し出す）

汐：「水を飲みながら）す、すごい！これ

だ！この刺激が新しいんだ！」（興奮気味

に）

研究員A：「ですが、このままだと一般の消費

者には…」

塩田：「ちょっと改良が必要かもしれませんね

…」

汐：「いや、完璧だ！世界中がこの味に驚くぞ！」（自信満々）

第4幕

シーン4：商品発表会

（商品発表会の会場。汐製菓の新作ガム「アララフェル味」の披露イベントが行われている。報道陣と観客が集まる）

司会者：「皆様、お待たせしました！汐製菓の新作ガム、『アララフェル味』の登場です！」

（会場がどよめく）

汐：「皆さん！このガムは今までにない冒険です！中東の伝統的な味を楽しんでくださいー！」

（観客が試食するためにガムを受け取り、恐る恐る口に入れる）

観客 1：「…これは…なんというか…強烈ですね…」

観客 2：「面白い味だけど、慣れるには時間がかかりそう…」

（報道陣が一斉に写真を撮り、フラッシュがたかれる）

記者：「社長、このガムをどうやって市場に広げるおつもりですか？」

汐：「この刺激的な味は、SNSでバズること間違いなし！試す価値がある味だから、みんなにシェアしてもらうんだ！」

塩田：「（小声で）社長、本当に大丈夫なんでしょうか…？」

汐：「安心しろ、塩田！これが大ヒットの鍵だ！」

第5幕

シーン5: SNSの反応

(場面が切り替わり、SNS上でのガムの反響が映し出される。投稿が次々と表示される)

投稿1:「なんだこのガム!強烈すぎる!」

投稿2:「ファラフェル味のガム、試してみた。

まさに食べ物の冒険!」

投稿3:「クセになるかも…でも、友達には勧められない(笑)」

投稿4:「汐製菓、またやらかしたな。でも話題になってるし、ある意味成功?」

(塩田がSNSの反応を見ながら、頭を抱える)

塩田:「これは…大変なことに…」

汐：「見ろ、塩田！そのが燃えてる！これが狙いだ！」（嬉しそうに）

塩田：「（ため息）まあ、確かに話題になってますけど…」

汐：「次はどんな味を作ろうか…！」

塩田：「また次ですか…？」（困惑しながらも諦めたように）

汐：「塩田、次もよろしく頼むぞ！」

塩田：「（内心で）でも、これが私の仕事…お菓子が好きだからこそ、社長についていくしかない。」

（汐が新しい企画を考え始める一方で、塩田は微笑んで頷く）

終幕

ナレーション：「汐製菓の奇想天外な挑戦は、
まだまだ続く。次の新商品は一体何になるの
か？世界が注目する、汐製菓の未来に乞う
ご期待！」

（幕が閉じ、エンディングクレジットが流れる）

完